



AQ1 SYSTEMS

ツナファーマー・ニュースレター

AQ1 ツナファーマーニュースレター第一部へようこそ！

このニュースレターでは、AQ1の最新マグロ養殖技術によって得られた成果について世界のマグロ養殖業者にご紹介いたします。

AQTVプロ-マグロ給餌システムを沖合いで実験！

多くの南オーストラリアマグロ養殖業者は、斃死率を下げるために現行の場所から2~4倍の距離離れた沖合いで養殖が可能か試験しています。

ブラスロブのクレイグ・ヒュー氏は、2011年の養殖シーズンに向けて餌のホッパーとAQTV給餌システムを48キロ沖合いに移動して荒波に耐えることができるか試験しました。また、ヒュー氏はポートリンカンの事務所まで携帯電話で通信するイケス内のビデオイメージの画質が沖合いからでもきちんと受信できるか確認のテストを行いました。

その結果、海の荒れている台風時でもきちんと機能することがわかりました。現在、ブラスロブでは、湾内でも沖合いでもポートリンカンの事務所からイケス内の映像を確認しながら給餌をコントロールしています。この給餌法によって増肉係数や給餌コストを軽減することができました。



<http://www.youtube.com/watch?v=Hg1FAj6M138>

6メートル強の波のときにAQTVプロで撮影した映像をこのサイトでご覧ください。

AQ1

AQ1 SYSTEMS

ツナファーマー・ニュースレター



実際に南オーストラリアで使用されている
生餌及びツナフード使用のホッパー
(Mk2) に AQTV プロ給餌カメラシステムを
搭載したもの

ビデオ給餌管理によって収益率が上がる

AQTV プロは、特にマグロやブリ類に向けて開発されたビデオ給餌管理システムです。

このシステムはマグロが餌をイケス内で食べる様子をモニターすることですべてのマグロに餌が行き渡ることを管理し、かつ無駄餌を無くします。餌の吐き出しの管理は船上からや陸のオフィスからワイヤレスランまたは携帯電話ネットワークで遠隔的に行うことが可能です。

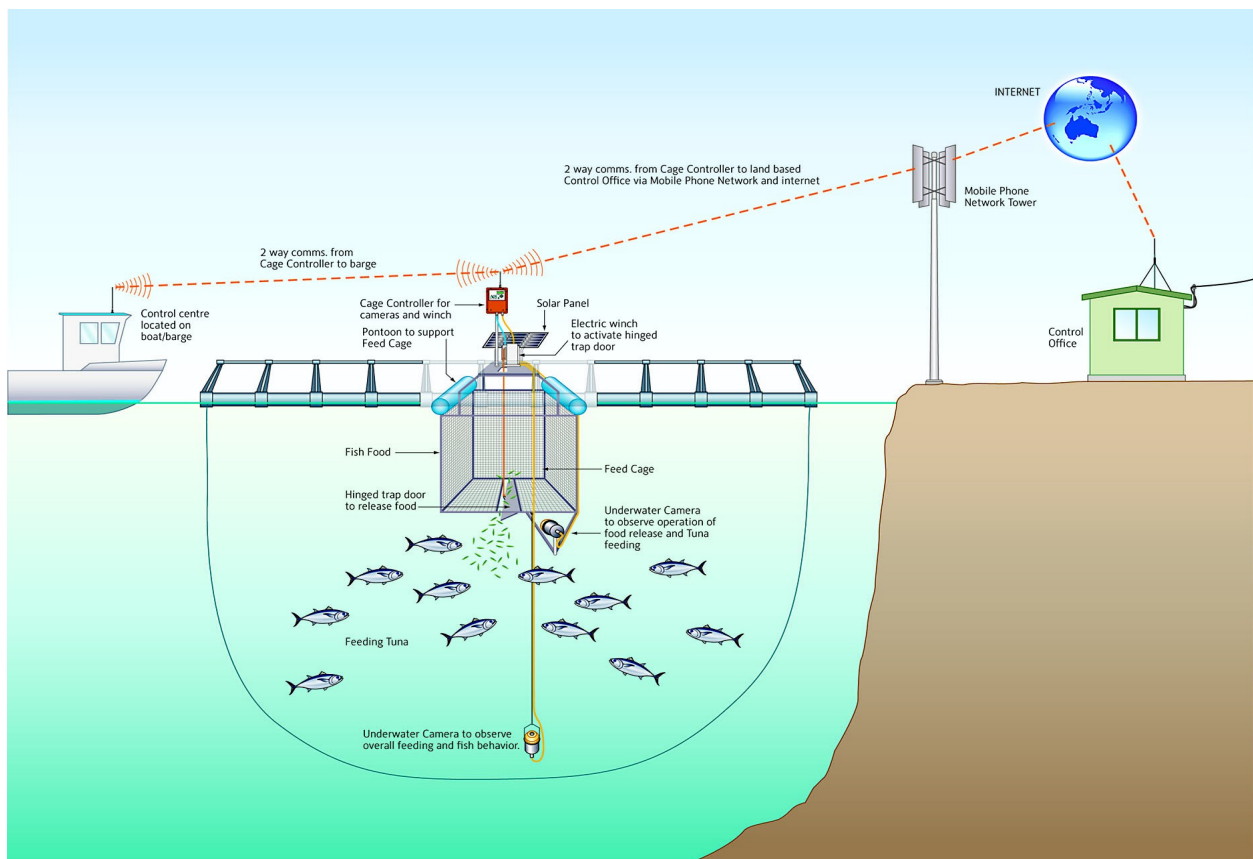


AQ1 SYSTEMS

ツナファーマー・ニュースレター

南オーストラリアで行った AQTV プロによる生産試験によると、システム投資額の 3 倍の回収が最初のシーズンだけで実現できました。その大まかな内訳は；

- 増肉係数が 15% 減少
- 船による給餌コストが 50% 削減 (燃料など)
- 給餌の人件費が 40% 削減



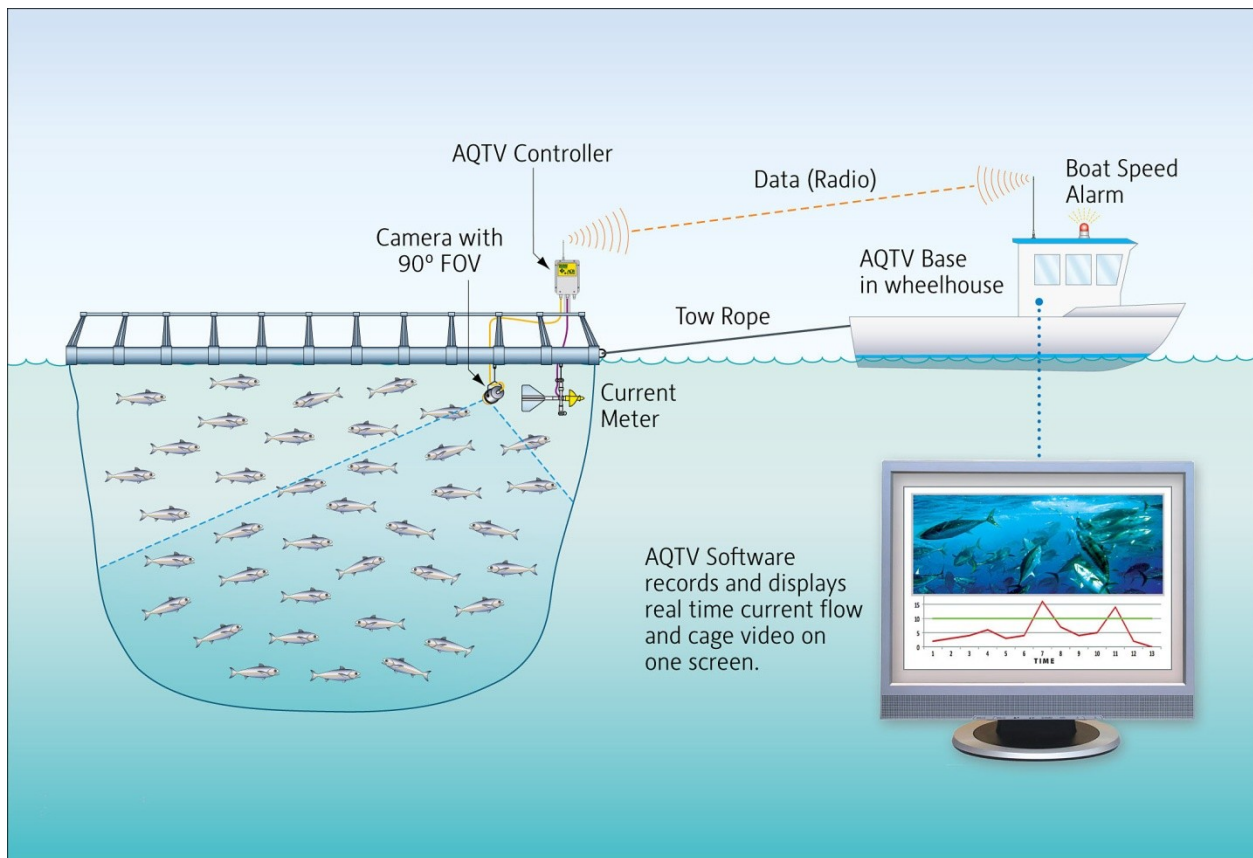


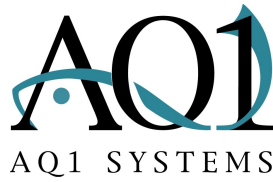
AQ1 SYSTEMS

ツナファーマー・ニュースレター

曳航イケスのモニターシステム

日本、オーストラリア、メキシコなどの漁業者のご要望にお応えして、曳航イケスをモニターする AQTV システムも実現しました。このシステムによって、網、魚、潮流（潮流センサーのデータ）などが常に操舵室からモニターできます。





ツナファーマー・ニュースレター

最近 AM100 を購入された漁業者

日本では、ANCC (一般社団法人全日検) - 有料で測定の代行する、西オーストラリア大学、バツハアクアファームなどです。

AQ1 に関する詳しい情報はについては、info@aq1systems.jp へメールをいただくか、
www.aq1systems.jp を参照ください。